

第29回定期演奏会

東京ベートーヴェンカルテット

BEETHOVEN QUARTETT, TOKYO

モーツァルト：弦楽四重奏曲 第11番 変ホ長調 k. 171

W.A.Mozart : String Quartet No.11 in E-Flat major k.171

ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲 第12番 変二長調 op. 133

D.Shostakovich : String Quartet No.12 in D-Flat major op.133

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 op. 130

L.V.Beethoven : String Quartet No.13 in B-Flat major op.130



1st Vn 武藤伸二

2nd Vn 平井幸子

Va 中川裕美子

Vc 奈切敏郎



1st Vn Shinji
Mutou

2nd Vn Sachiko
Hirai

Va Yumiko
Nakagawa

Vc Toshio
Nakiri

2017 8/30 wed. (水)

30th August wednesday 2017 Tokyo Bunka-kaikan Recital-Hall

東京文化会館 小ホール

7:00pm 開演 6:30pm 開場 全自由席 ¥4,500

主催：響の会 共催：門下生の会

後援：日本フィルハーモニー交響楽団 日本フィルハーモニー協会

お問合せ：日本フィル チケットデスク 03-3578-5911

チケット：東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

BEETHOVEN QUARTETT, TOKYO

東京ベートーヴェンカルテット

1971年日本フィルのチェリスト、奈切敏郎を中心に「奈切弦楽四重奏団」として結成され、演奏活動を開始。1989年第100回の演奏会を機にベートーヴェン研究家故小松雄一郎氏を名付親に「東京ベートーヴェンカルテット」と名称を改める。東京荻窪での定期演奏会は、2017年8月で437回を迎える。これまで東京を中心に北海道、岩手、福島、埼玉、神奈川、茨城、栃木、石川、千葉等全国各地で演奏。古典から現代曲までレパートリーは幅広く、1986年ベートーヴェン、1992年ショスタコーヴィチ、1999年モーツァルトの弦楽四重奏曲の

全曲演奏を成し遂げた。再び、各全曲演奏に取り組んでいる。東京文化会館での定期演奏会を毎年行い、好評を博す。本年第29回を迎える。又、NHK・FMに出演を重ねる。朝日新聞社主催「浜離宮の室内楽」に出演。今後の日本における室内楽の発展にその責務を担おうと、全国各地の室内楽を真摯に追求したいという情熱を持った演奏家の育成にも力を注ぎ、＜セレクトィヴ・アーティスト・シリーズ＞を行っている。本格的な弦楽四重奏団として注目されており、その意欲的活動と演奏は、高く評価されている。

武藤伸二 Shinji Mutou (1st Vn.)

4才からヴァイオリンを始める。国立音楽大学附属高校から同大学に進み、守岡輝、海野義雄、田中千香士、M・ヘル、W・シュナイダーハンの各氏に指導を受ける。在学中より活動を始め、NHK交響楽団に入団。以後第1ヴァイオリン フォアシュピラーとして永く重責を担い、「N響有馬賞」を受賞。オーケストラ以外にも「N響室内合奏団」「田中千香士クワルテット」のメンバーとして、又ピアノ、管楽器などの著名な演奏家との競演、NHK「タベのリサイタル」「FMリサイタル」「テレビリサイタル」「名曲アルバム」「題名のない音楽会」などへの出演、その他ソロ、室内楽、ゲストコンサートマスターなど多岐に亘って演奏活動を行なう。2003年、国立音楽大学教授に就任。ヴァイオリン、オーケストラ、アンサンブル授業など後進の指導にあたり2012年退任。以後、「N響団友オーケストラ」コンサートマスターや東京ベートーヴェンカルテット及びリサイタル等のソロ活動を行なう。

平井幸子 Sachiko Hirai (2nd Vn.)

東京藝術大学附属音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。同声会新人演奏会に出演。1985年霧島国際音楽祭にて奨励賞受賞。1987年日本フィルハーモニー交響楽団に入団。以後、第一ヴァイオリン奏者として演奏するほか、数々の室内楽コンサートにも出演。杉並区と日本フィルの提携事業の一環として、学校・施設訪問コンサートや「60歳からの楽器教室」での講師など、地域での活動も積極的に行っている。これまで渡辺亜美、海野義雄、浦川宜也、前橋汀子の各氏に師事。2009年より「平井幸子室内楽シリーズ」を行なっており、毎回好評を博している。ソロ活動、室内楽活動に意欲的に取り組んでおり、いずれも高い評価を受けている。

中川裕美子 Yumiko Nakagawa (Va.)

東京音楽大学卒業。その後、同大学にて研究員を務めた。その間、兎束俊之氏、川崎和憲氏に、ロスアンジェルスにてミルトン・トーマス氏に師事。また、アメリカ、メキシコ州タオス音楽祭にも参加。その後、小国英樹氏に師事。87年日本フィルハーモニー交響楽団に入団。91年ボストンロンジー音楽院にてリサイタルを行い、好評を得た。室内楽活動、ソロ活動も意欲的に取り組んでおり、好評を得ている。

奈切敏郎 Toshio Nakiri (Vc.)

国立音楽大学に学ぶ。11歳より長沼康光氏にチェロの手ほどきを受ける。丹野弥之助氏、菊地俊一氏、小沢弘氏、青木十良氏に師事。またダニール・シャフラン氏にレッスンを受ける。名ピアニスト故近江康夫氏との35年に及ぶ活動で多くの名演を残している。指揮法を渡辺暁雄氏に師事。また朝比奈隆氏に多くの教えを受ける。アカデミー・ピアノ・トリオ、アンサンブル・アルスノヴァなどを経て、1971年日本フィルハーモニー交響楽団に入団。32年間トップ・チェリストとしての重責を担う。1971年より東京ベートーヴェンカルテットを主宰、これまで全国各地で演奏会を行い好評を博している。またNHK・FMリサイタルに数多く出演。室内楽活動、ソロ活動、チェロ教育にと幅広く意欲的に活動を展開している。1973年より重ねているリサイタルも2016年3月東京文化会館において第14回を開催、好評を博す。2007年、36年間務めた日本フィルを定年退団。その入魂と情熱の力演は多くの人々に感銘を与えている。また指揮活動にも本格的に取り組んでいる。